

防災教育チャレンジプラン 最終報告書

記入日 2011年 1月 24日

1. 概要

実践団体名	愛知県立半田商業高等学校		
連絡先	0569-21-0251		
プランタイトル	レスキューハイスクール。育み隊！		
プランの対象者	小学生,中学生,高校生	対象とする 災害種別	地震,津波,水害

【プランの目的・ここがポイント！】

1. 本校生徒の防災教育
2. 防災教育による地域貢献
3. 全国の高校生の防災意識の啓発

【プランの概要】

1. 地震と台風に関する『デジタル紙芝居』の製作を通じ、本校生徒の防災に関する意識を高める。
2. 市内の小中学校での『出前授業』により、小中学生の防災に関する意識を高める。
3. 各関係機関等が主催する県内の防災に関する行事に参加し、防災教育の推進役となる。

【期待される効果・ここがおすすめ！】

1. 本校生徒が製作した『デジタル紙芝居』を活用して、本校生徒が講師になり地元小中学校に出向いて『出前授業』を実施することは、他の高校にはない「新たなチャレンジ」である。
2. 『出前授業』は単なる出発点であり、「チャレンジプラン」を活用して高校生による防災教育を情報発信することで防災教育普及が無限に広がる可能性がある。

防 災 教 育 チ ャ レ ン ジ フ ラ ン 最 終 報 告 書

2. プランの年間活動記録（2010年度）

	プランの 立案と調整	準備活動	実践活動
4月	『出前授業』年間授業 計画立案 各発表等の年間計画立 案	小中学校訪問（7校） 『出前授業』趣旨説明	『出前授業』講座開設
5月	『出前授業』講義内容 検討	『生徒商業研究発表大 会』資料作成（6月まで）	『PTA総会』で防災教材発表
6月	『出前授業』講義内容 検討	『生徒商業研究発表大 会』練習（8月まで）	地元公共施設内で本校の防災に 関する取組をパネルにして展示
7月	『出前授業』資料作成	『中学生体験入学』資料 作成・練習	
8月	『出前授業』資料作成	『高校生防災セミナー』 資料作成・練習	『生徒商業研究発表大会』発表 『高校生防災セミナー』講師 『中学生体験入学』発表
9月	『出前授業』改善策検 討	小中学校訪問（7校） 事前打ち合わせ（12月ま で）	『出前授業』実践（10日・17日・ 24日）
10月	『出前授業』改善策検 討	『あいち防災フェスタ』 資料検討・作成	
11月	『出前授業』改善策検 討	『あいちさんフェスタ 2010』資料検討・作成	『あいち防災フェスタ』発表 『あいちさんフェスタ 2010』発 表 『出前授業』実践（12日・19日・ 26日） 『同窓会総会』で本校の防災に 関する取組を発表
12月	『出前授業』改善策検 討	『出前授業』校内成果報 告会準備	『出前授業』実践（10日）
1月	『出前授業』改善策検 討	『出前授業』校内成果報 告会準備	『出前授業』校内成果報告会

防 災 教 育 チ ャ レ ン ジ フ ラ ン 最 終 報 告 書

3. 実践したプランの内容と成果

【実践プログラム①】

タイトル	『出前授業』の実践
実施月日（曜日）	9月10日（金）・17日（金）・24日（金）・11月12日（金）・ 19日（金）・26日（金）・12月10日（金）
実施場所	半田市立青山中学校・半田市立雁宿小学校・半田市立乙川中学校・ 半田市立半田中学校・半田市立成岩小学校・半田市立亀崎中学校・ 半田市立成岩中学校
担当者または講師	担当者・講師等の区分：本校3年生17名 所属・役職等：3年F組デュアルシステムコース
所要時間または 「コマ数×単位時間」	7回×50分間
プログラムの カテゴリ、形式	1 1 出前授業
活動目的	8 防災意識を高める
達成目標	半田市内の小中学生の防災意識を高める
実践方法・進め方 （箇条書き、または フロー）	1 『デジタル紙芝居』製作過程 2 『デジタル紙芝居』上映（地震編・台風編） 3 防災クイズ 4 防災グッズ説明
準備、使用したもの ・人材 ・道具、材料等	・『デジタル紙芝居』 ・パソコン ・プロジェクター ・プレゼンテーションソフト ・防災グッズ ・資料
参加人数	合計約2,000名（半田市内の5中学校、2小学校）
経費の総額・内訳概要	約10万円
成果と課題	【成果】半田市内の小中学生の防災意識の高めることができた。 【課題】市内の小中学生への防災教育の普及活動。本年度、中学校は半田市内の全校訪問。小学校は近隣の2校のみ実施
成果物	『デジタル紙芝居』製作過程の資料（印刷物・電子データ） 小中学生からの礼状・感想文等

防 災 教 育 チ ャ レ ン ジ フ ラ ン 最 終 報 告 書

【実践プログラム②】

タイトル	『PTA総会』での『デジタル紙芝居』完成報告会
実施月日（曜日）	5月14日（金）
実施場所	本校体育館
担当者または講師	担当者・講師等の区分：本校3年生17名 所属・役職等：3年F組デュアルシステムコース
所要時間または「コマ数×単位時間」	約30分間
プログラムのカテゴリ、形式	1 イベント・行事
活動目的	10 その他（本校生徒の防災教育の取組紹介）
達成目標	本校生徒の防災教育の取組を保護者に紹介
実践方法・進め方（箇条書き、またはフロー）	1 『デジタル紙芝居』製作過程 2 『デジタル紙芝居』上映（地震編・台風編） 3 本年度の取組内容紹介
準備、使用したもの ・人材 ・道具、材料等	・『デジタル紙芝居』 ・パソコン ・プロジェクター ・プレゼンテーション ・資料
参加人数	約200名（本校1～3年生保護者）
経費の総額・内訳概要	なし
成果と課題	【成果】本校生徒の保護者に本校の防災教育に関する取組に理解を得た。 【課題】『PTA総会』への保護者全員の参加
成果物	『デジタル紙芝居』製作過程の資料（印刷物・電子データ） 参加した保護者の感想等

防 災 教 育 チ ャ レ ン ジ フ ラ ン 最 終 報 告 書

【実践プログラム③】

タイトル	『中学生体験入学』での本校防災教育の取組紹介
実施月日（曜日）	8月6日（金）
実施場所	本校体育館
担当者または講師	担当者・講師等の区分：本校2、3年生6名 所属・役職等：CG・美術部
所要時間または「コマ数×単位時間」	約20分間
プログラムのカテゴリ、形式	1 イベント・行事
活動目的	8 防災意識を高める
達成目標	半田市内の中学3年生の防災意識を高める
実践方法・進め方（箇条書き、またはフロー）	1 『デジタル紙芝居』製作過程 2 『デジタル紙芝居』上映（地震編・台風編）
準備、使用したもの ・人材 ・道具、材料等	・『デジタル紙芝居』 ・パソコン ・プロジェクター ・プレゼンテーション
参加人数	約600名（本校体験入学を希望した中学3年生）
経費の総額・内訳概要	なし
成果と課題	【成果】本校体験入学希望者の防災意識を高めることができた。 【課題】本校体験入学希望者に限る
成果物	『デジタル紙芝居』製作過程の資料（電子データ） 参加した中学3年生の感想等

防災教育チャレンジプラン 最終報告書

【実践プログラム④】

タイトル	『生徒商業研究発表大会』での発表
実施月日（曜日）	8月11日（水）
実施場所	守山文化小劇場（名古屋市）
担当者または講師	担当者・講師等の区分：本校2、3年生6名 所属・役職等：CG・美術部
所要時間または「コマ数×単位時間」	約20分間
プログラムのカテゴリ、形式	1 イベント・行事
活動目的	8 防災意識を高める
達成目標	県内の商業高校生の防災意識を高める
実践方法・進め方（箇条書き、またはフロー）	1 『デジタル紙芝居』製作過程 2 『デジタル紙芝居』上映（地震編・台風編）
準備、使用したもの ・人材 ・道具、材料等	・『デジタル紙芝居』 ・パソコン ・プロジェクター ・プレゼンテーション ・資料
参加人数	約300名（県内の商業高校生の一部）
経費の総額・内訳概要	なし
成果と課題	【成果】 県内の商業高校生の防災意識を高めることができた。 【課題】 商業高校生だけではなく県内の高校生への防災教育の普及
成果物	『デジタル紙芝居』製作過程の資料（印刷物・電子データ） 審査員による講評等

防災教育チャレンジプラン 最終報告書

【実践プログラム⑤】

タイトル	『高校生防災セミナー』での発表
実施月日（曜日）	8月23日（月）
実施場所	国立大学法人名古屋大学（名古屋市千種区）
担当者または講師	担当者・講師等の区分：本校2、3年生6名 所属・役職等：CG・美術部
所要時間または「コマ数×単位時間」	約30分
プログラムのカテゴリ、形式	1 イベント・行事
活動目的	8 防災意識を高める
達成目標	県内の高校生の防災意識を高める
実践方法・進め方（箇条書き、またはフロー）	1 『デジタル紙芝居』制作過程 2 『デジタル紙芝居』上映（地震編・台風編） 3 本年度の取組内容紹介
準備、使用したもの ・人材 ・道具、材料等	・『デジタル紙芝居』 ・パソコン ・プロジェクター ・プレゼンテーション ・資料
参加人数	約100名（セミナーに参加した県内の高校生と引率教員）
経費の総額・内訳概要	なし
成果と課題	【成果】 同じ高校生対象に講師をすることで本校生徒の推進役としての意識がさらに高まった。また、県内の高校生（セミナー参加者）の防災意識を高めることができた。 【課題】 県内の高校生全員への防災教育の普及
成果物	『デジタル紙芝居』制作過程の資料（印刷物・電子データ） セミナー参加者（高校生・引率教員）による意見・感想等

防 災 教 育 チ ャ レ ン ジ フ ラ ン 最 終 報 告 書

【実践プログラム⑥】

タイトル	『あいち防災フェスタ』での展示・発表
実施月日（曜日）	11月7日（日）
実施場所	愛・地球博記念公園（愛知郡長久手町）
担当者または講師	担当者・講師等の区分：本校1年生5名 所属・役職等：CG・美術部
所要時間または「コマ数×単位時間」	約6時間
プログラムのカテゴリ、形式	1 イベント・行事
活動目的	8 防災意識を高める
達成目標	県民の防災意識を高める
実践方法・進め方（箇条書き、またはフロー）	1 東南海地震・三河地震・伊勢湾台風時の写真等の資料展示 2 『デジタル紙芝居』上映（地震編・台風編） 3 防災クイズ
準備、使用したもの ・人材 ・道具、材料等	・『デジタル紙芝居』 ・DVD再生装置 ・モニター ・展示資料
参加人数	約1,000名（『あいち防災フェスタ』参加者）
経費の総額・内訳概要	約5万円
成果と課題	【成果】県民に対して高校生の防災教育の取組を理解してもらうことができた。 【課題】『あいち防災フェスタ』参加者の増加
成果物	東南海地震・三河地震・伊勢湾台風時の写真等の資料 『デジタル紙芝居』製作過程の資料（パネル展示）

防 災 教 育 チ ャ レ ン ジ フ ラ ン 最 終 報 告 書

【実践プログラム⑦】

タイトル	『あいちさんフェスタ2010』での展示・発表
実施月日（曜日）	11月7日（日）
実施場所	アスナル金山（名古屋市中区）
担当者または講師	担当者・講師等の区分：本校2、3年生6名 所属・役職等：CG・美術部
所要時間または「コマ数×単位時間」	約7時間（展示） 約20分間（発表）
プログラムのカテゴリ、形式	1 イベント・行事
活動目的	8 防災意識を高める
達成目標	県民の防災意識を高める
実践方法・進め方（箇条書き、またはフロー）	1 ポスター展示 2 『デジタル紙芝居』製作過程 3 本年度の取組内容紹介
準備、使用したもの ・人材 ・道具、材料等	・『デジタル紙芝居』 ・パソコン ・プロジェクター ・プレゼンテーション ・防災に関するポスター
参加人数	約1,000名（『あいちさんフェスタ2010』参加者）
経費の総額・内訳概要	なし
成果と課題	【成果】県民に対して高校生の防災教育の取組を理解してもらうことができた。 【課題】『あいちさんフェスタ2010』参加者の増加
成果物	防災に関するポスター

防災教育チャレンジプラン 最終報告書

【実践プログラム⑧】

タイトル	本校『同窓会総会』での実践報告
実施月日（曜日）	11月27日（土）
実施場所	住吉福祉文化会館（半田市）
担当者または講師	担当者・講師等の区分：本校2、3年生6名 所属・役職等：CG・美術部
所要時間または「コマ数×単位時間」	約20分間
プログラムのカテゴリ、形式	1 イベント・行事
活動目的	10 その他（本校生徒の防災教育の取組紹介）
達成目標	本校生徒の防災教育の取組を同窓会に紹介
実践方法・進め方（箇条書き、またはフロー）	1 『デジタル紙芝居』製作過程 2 『デジタル紙芝居』上映（地震編・台風編） 3 本年度の取組内容紹介
準備、使用したもの ・人材 ・道具、材料等	・『デジタル紙芝居』 ・パソコン ・プロジェクター ・プレゼンテーション
参加人数	約200名（本校『同窓会総会』参加者）
経費の総額・内訳概要	なし
成果と課題	【成果】同窓会員に対して後輩の防災教育の取組を理解してもらうことができた。 【課題】同窓会員を通じた地域との交流活動
成果物	『デジタル紙芝居』製作過程の資料（電子データ）

防災教育チャレンジプラン 最終報告書

4. 苦勞した点・工夫した点

<p>プランの立案 と調整で 苦勞した点 工夫した点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・『出前授業』を初めて実践するため、小中学校に出向き趣旨等の説明に十分な時間を要した。また、各小中学校間の日程調整に苦慮した。 ・『デジタル紙芝居』を媒体として、本校の教育活動内で可能なあらゆる場面での発表機会を模索した。結果的に【実践プログラム】欄に記載したとおり、かなり多くの行事・イベント等での発表の機会を得ることができた。 ・発表の機会がかなり多くなったため、発表する生徒を2つのグループに分けた。『出前授業』は3年デュアルシステムコース、行事・イベント等はCG・美術部中心とした。3年デュアルシステムコースは科目『課題研究』担当教員、CG・美術部は顧問が主に指導した。
<p>準備活動で 苦勞した点 工夫した点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・『出前授業』を初めて実施するため、実践内容に苦慮した。やはり本校生徒が中心となり1年間かけて完成させた『デジタル紙芝居』の存在が大きく、『デジタル紙芝居』上映とその製作過程で学んだことを中心とした発表に落ち着いた。他の行事・イベント等での発表も同様である。 ・『出前授業』の実践内容については生徒の主体性を引き出し、生徒が積極的に実践内容を検討できるような雰囲気作りに時間をかけた。また、毎回終了直後に生徒と次回以降の改善策について検討する機会を設定したことで、回を増す毎に充実した『出前授業』とすることができた。
<p>実践に 当たって 苦勞した点 工夫した点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・『出前授業』を実施する学校によって施設・設備が異なり、発表のための機材等の調整に苦慮した。また、教える対象学年が異なり、学校によって雰囲気が違うため難しい場面もあったが、本校生徒は臨機応変に発表でき、各回とも受講した生徒・教員から高い評価を得ることができた。 ・行事・イベント等での発表では、それぞれの趣旨を理解し、十分な準備期間を設定し、行事・イベントに合った発表・展示ができた。

防 災 教 育 チ ャ レ ン ジ フ ラ ン 最 終 報 告 書

5. 他の団体、地域との連携

協力・連携先の分類	団体名、組織名	協力・連携の内容
学校・教育関係・ 同窓会組織	市内5中学校 市内2中学校 愛知県教育委員会 半田市教育委員会 名古屋大学災害対策室 名古屋大学大学院環境学研究科 同窓会理事会・同窓会総会	『出前授業』 〃 防災教材製作推進委員会 〃 防災教育講師 〃
保護者・ PTAの組織	PTA役員会・委員会・総会	PTA総会
地域組織	半田市観光協会 半田市亀崎地区	『デジタル紙芝居』製作の ための聴き取り調査
国・地方公共団体・ 公共施設	愛知県（防災局・建設部建築担当局） 半田市（防災交通課）	防災教材製作推進委員会 〃
企業・ 産業関連の組合等		
ボランティア団体・ NPO法人・NGO 等	NPO法人レスキューストックヤード 半田市内のボランティアの方々	防災教材製作推進委員会 『デジタル紙芝居』製作の ための聴き取り調査
職業、職能団体・ 学術組織、学会等	劇団「アルクシアター」	『デジタル紙芝居』脚本製 作・DVD編集

防災教育チャレンジプラン 最終報告書

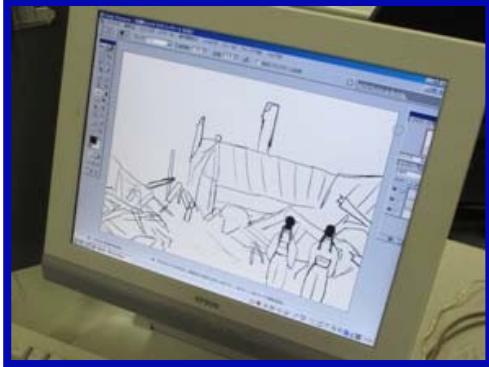
6. 成果と課題（実践したプラン全般について）

<p>成果として 得たこと</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地震と台風に関する『デジタル紙芝居』の製作を通じ、本校生徒の防災に関する意識が高まった。 2. 市内の小中学校での『出前授業』により、小中学生の防災に関する意識が高まった。 3. 各関係機関等が主催する県内の防災に関する行事に参加し、防災教育の推進役となることができた。
<p>全体の反省・ 感想・課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 本年度実施した『出前授業』は試行錯誤を繰り返し、最終的には充実した実践内容とすることができた。来年度も『出前授業』は継続実施する予定であるが、本年度以上に小中学生が主体的に参加できるような講義内容に改善する必要がある。 2. 来年度新たに『防災グッズ』の企画・製作・販売に取り組む予定である。『防災グッズ』製作に関してはどの過程までの展開が可能か分からないが、とにかく生徒の主体的な取組を引き出し、意欲的に推進していきたい。そのために市内の工業高校や農業高校との連携を十分に図る必要がある。
<p>今後の 継続予定</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 来年度も市内の小中学校で『出前授業』を実践し、地域貢献を果たす。 2. 『防災グッズ』の企画・製作・販売により、高校生による防災教育を推進させる。 3. マスコミを媒体として、全国の小中高校生の防災意識を啓発する。

防災教育チャレンジプラン 最終報告書

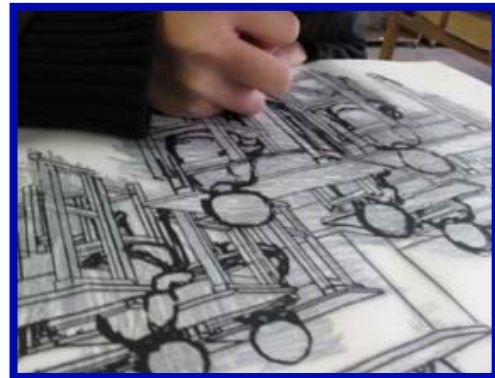
7. 自由記述欄 ①

『デジタル紙芝居』製作過程



①パソコンソフトを利用して下絵を描く

②下絵を印刷して、パネルに書き込む



③アクリル絵具を塗ってパネル完成

防災教育最終チャレンジラン 報告書

7. 自由記述欄 ②

掲載された新聞記事(一部抜粋)

被災時の様子 紙芝居に



「被災時の様子」紙芝居の制作に、半田商高生と防犯教材製作委員が取り組んでいる。紙芝居は、被災時の様子や避難の仕方などを伝えるための教材として制作されている。

半田商高生と防犯教材製作委員

「被災時の様子」紙芝居の制作に、半田商高生と防犯教材製作委員が取り組んでいる。紙芝居は、被災時の様子や避難の仕方などを伝えるための教材として制作されている。

市町村や高校に配布

紙芝居は、被災時の様子や避難の仕方などを伝えるための教材として制作されている。市町村や高校に配布される予定である。

450人 災害体験夏に取材

半田商23年 「デジタル紙芝居」制作



「デジタル紙芝居」制作の様子。半田商23年生が、災害体験をテーマにしたデジタル紙芝居の制作に取り組んでいる。

デジタル紙芝居は、被災時の様子や避難の仕方などを伝えるための教材として制作されている。市町村や高校に配布される予定である。

防災教材作りへ予習

市民団体などと交流



防災教材の制作に、市民団体などと交流している。市民団体は、被災時の様子や避難の仕方などを伝えるための教材として制作されている。

市民団体は、被災時の様子や避難の仕方などを伝えるための教材として制作されている。市町村や高校に配布される予定である。

半田商高生が防災授業

青山中 開発したDVDで啓発



半田商高生が、青山中で防災授業を開いた。授業は、被災時の様子や避難の仕方などを伝えるための教材として制作されている。

青山中は、被災時の様子や避難の仕方などを伝えるための教材として制作されている。市町村や高校に配布される予定である。

防災教育チャレンジプラン 最終報告書

7. 自由記述欄 ③

『出前授業』授業風景



中学生はどの学校も人数が多く、
硬い雰囲気の中で進行しました。

小学生は元気に参加してくれました。
自然と本校生徒にもゆとりが生まれ
ていきました

